

# YA・BOOKS

No.17 (2007.8)

～ 最近入った本の中から ～

## ◆ ビッグTと呼んでくれ

バンド組もうぜ!

K.L.ゴーン作 浅尾敦則訳 徳間書店 2007.3 テコJ933-コイ 1109131812

17歳で体重135キロ。まったく自分に自信がない主人公ロイは、母親がなくなった後、弟や父親ともうまくいかない。あるとき、地下鉄のホームで伝説のギタリスト・カートとであう。彼はいっしょにバンドを組もうという。「おまえ、すげえドラマーになれるぜ、ビッグT!」**ビッグT!** 今まで誰が彼にそんなことをいっただろうか!

## ◆ 空からおちてきた男

地球に住むわたしたち

ジェラルディン・マコックラン作 金原瑞人訳 佐竹美保絵 偕成社 2007.4 テコJ933-マコ 1109145522

墜落した飛行機からふきとばされ、低い木々に命を助けられた写真家のフラッシュは、女の子ステイラと男の子オルに連れられて砂漠の中にある村にたどりつく。原始的な生活を営む人々は、カメラなど見たこともない。カメラに「とられる」とは文字通り「カメラの中にとりこまれてしまう」と思っているらしい。

## ◆ 黙示の海

世界の終わりが迫る!?

ティム・ボウラー作 金原瑞人、相山夏奏訳 東京創元社 2007.4 テコ933.7-ホウ 1109160135

家族3人で航海の旅に出たキットは、ある夜誤って船を大岩にぶつけてしまう。難破した船が何とか辿り着いたのは、荒れ果てた小さな島だった。島民はこん棒を持ってキット達に襲いかかる。連れ去られた両親を探し求め、戦いに巻き込まれるキット。果たして世界は終末を迎えるのか。時空を超えた壮大な物語世界が広がる。

## ◆ 鹿男あをによし

鹿がしゃべった!

万城目学著 幻冬舎 2007.4 テコ913.6-マキ 1109147723

不本意ながら奈良の女子高に赴任することになった28歳の「おれ」は、言葉を話す鹿から“運び番”に選ばれる。狐の“使い番”から“目”をもらってくるだけだというが、任務が失敗すれば地下のなまずが暴れて富士山が噴火するというのだからさあ大変。邪魔や誤解がうずまく中、はたして「おれ」は役目を果たせるのか?

## ◆ 夢の書 上・下

ファンタジー

O.R.メリング作 井辻朱美訳 講談社 2007.5 テコJ933-メリ 1109183828、1109183837

ダーナは父が人間、母が妖精という13才の少女だ。愛するアイルランドからカナダへ移り、新しい母親や環境になじむことができない。父に内緒で母のいる妖精の国を訪ねている時だけが心の救いとなっていた。作者による三つの作品「妖精王の月」「夏の王」「光をはこぶ娘」の完結編にあたるが、この作品だけでも楽しめる。

## ◆ 歩く

傑作「穴」の姉妹編

ルイス・サッカー作 金原瑞人、西田登訳 講談社 2007.5 テコJ933-サツ 1109177849

今は真面目に更正し、勉強とアルバイトに励むアーム・ピット。お隣に住む脳性麻痺の少女・ジニーが、いつも彼を助け励ましてくれる。ところが悪友のX・レイに誘われて、つついダブ屋行為に手を貸してしまう。美人ポップスターとの偶然の出会いにときめく中、警察の捜査も始まって…。さてアーム・ピットの運命やいかに。

## ◆ ツォツイ

疾走感あふれる終幕

アソル・フガード著 金原瑞人,中田香訳 青山出版社 2007.4 テコ 933.7-フカ 1109140070  
舞台はアパルトヘイト政権下の南アフリカ。幼い頃の記憶がなく、ツォツイ(ギャング)と呼ばれている少年は、仲間と盗みや殺しを繰り返している。ところがある日、見知らぬ女性から赤ん坊を受け取ってしまう。過去と未来が交錯するあやうさの中でツォツイが向かう先は？2006年度アカデミー賞外国語映画賞受賞作品の原作。

## ◆ 父さんの銃

民族と国家

ヒネル・サレーム著 田久保麻理訳 白水社 2007.6 テコ 953.7-サレ 1109183013  
国家を持たない民族、クルド人の少年が主人公。父も母も兄も親戚の人々も誰もがクルド人がやがて独立した国家を持つことを夢見ている。しかし現実はなかなか厳しい。命さえも脅かされる困難さの中で、いつか必ずクルド人の出演する映画を作ろうと思う彼は、何を見、感じ、喜んだり、悲しんだり、怒ったりするのだろうか。

## ◆ ぼくらは小さな逃亡者

まさかテロリスト？

アレックス・シアラー著 奥野節子,佐々木ひとみ訳 ダイアモンド社 2007.5 テコ J933-シア 1109183846  
いつものいたずらだった。花火でちょっとみんなをびっくりさせてやろうと思ったただけだったのに、すごい爆発でビルが吹き飛んだ。パニックになった時、「ちょうど居合わせた親切な二人組み」の車にのせてもらって「ラッキー！」なはずだったんだけど。隠してもらって二人と過ごすうち、何かおかしいことに気がついてゆく。

## ◆ ジャック・テロシュの日記 隠されたホロコースト

人間として

ジャン・モラ作 横川晶子訳 岩崎書店 2007.7 テコ J953-モラ 1109204875  
17歳のエマは、貧しい暮らしから身を立て今は町の名士である祖父母を心から慕っていた。しかしある晩、祖母の言葉に嘘が隠れているのを感じとる。それ以来エマの拒食症は悪化してゆく。祖母の死後、遺品の中にあつた一冊の古いノート。そこには恐ろしい事実が書かれていた。ソルシエール賞等 14 の海外文学賞受賞。

## ◆ ぼくはアメリカを学んだ (岩波ジュニア新書)

アメリカ社会の影

鎌田遵著 岩波書店 2007.1 テコ J295-カマ 1109105895  
高校で落ちこぼれた著者は 17歳のとき船と汽車を乗り継いでユーラシア大陸を横断。卒業後アメリカの先住民居住地に留学し、ヒスパニックや先住民のプエブロ族との生活を送る。そこで無茶苦茶な人種差別を味わい、偏見のない社会をつくりたいと猛勉強を開始した。エリート街道とは無縁の著者の、体当たりの記録。

## ◆ 自分のためのエコロジー (ちくまプリマー新書)

エゴからエコへ

甲斐徹郎著 筑摩書房 2006.8 テコ 528.2-カイ 1108979430  
街中でも自然とのつながりを上手に活かせば、住みやすい家や町をつくれる。「自分のため」に「気持ちよく」すごしたいというエゴを追求することで、ヒートアイランドだって解決？！エゴからエコを目指そうという主張が意外に納得できる。緑のカーテンやすだれ作戦は、自分の部屋でもできそうです。

## 学園モノ/4連発☆☆☆☆

まずは「**ジーンズ・フォーエバー**」(アン・ブラッシュェアーズ作 大島双恵訳 理論社 2007.4 テコ J933-フラ 1109153506)。シリーズ完結編です。4人の絆の象徴だったトラベリング・パンツは最後にどうなる？

学園モノといえば部活！「**おっぱいバレー**」(水野宗徳著 2006.11 泰文堂 テコ 913.6-ミス 1109147106)は、男子バレー部の面々と顧問の先生の悲喜こもごものコメディ。タイトルと表紙はふざけてるけど、ラストは泣かせるよ。「**階段途中のビッグ・ノイズ**」(越谷オサム著 2006.10 幻冬社 テコ 913.6-コシ 1109168213)は廃部寸前の軽音部のお話。お約束のツボ満載で、引っ込み思案な主人公、喧嘩っ早いベース、男前のギター、努力家のドラムとキャラもたってる。最後は「**青年のための読書クラブ**」(桜庭一樹著 2007.6 新潮社 テコ 913.6-サク 1109204267)。とあるお嬢様学校が舞台。学園史上では抹殺された裏の歴史を、校内の変わり者ばかりが集まる「読書クラブ」員が綴ってゆくという趣向。ぜひ女子のみんな、読んでみて！